

履修上の注意・授業科目配当表・卒業要件

# 1. 《情報社会学科》 履修上の注意

平成 27 年度 (2015) 入学者用

以下に科目履修にあたっての注意点を挙げる。学生は履修細則と合わせて熟読し、卒業に際し、問題の起こらないよう留意すること。

1. 本学科を卒業するためには、学部規程別表 I 「授業科目表」に記載されている科目のうちから、4 年次終了までに、教養科目 50 単位以上、専門科目 74 単位以上、合計 124 単位以上を修得しなければならない。このうち平成 25 年度以降入学生については必修 36 単位、選択必修 10 単位の修得が必要である。
2. 履修は別表「授業科目配当表」に記された配当年次に行うのが標準であるが、これにとらわれずに自分の所属より下の年次に配当された科目を履修することもできる。早期卒業を希望する場合の情報社会総合演習を除いて、所属より上の年次に配当されている科目を履修することはできない。
3. 1 年間に履修登録できる単位の上限は 48 単位である。本学科では 2 年次から 3 年次、3 年次から 4 年次に進級するために必要な単位数を定めている。2 年次終了までに 28 単位、3 年次終了までに 76 単位を修得していなければ進級できない。進級要件を満たし、4 年間で卒業するためには、各年次に 36 単位程度を修得し、4 年次では情報社会総合演習の他、数科目を履修すればよくなるよう計画的に履修することが重要である。
4. 1～2 年次に配当されている教養科目は、主として、人間理解 (人文科学)、国際理解 (社会科学)、科学技術理解 (自然科学)、外国語、情報の 5 つの学問分野から構成されている。また、これとは別に大学卒業後の進路に対する指針と支援を与える目的でキャリア・デザイン科目が設置されている。1～2 年次には、学生はなるべく広い分野にわたる科目を履修することによって視野を広げ、自らの真の興味のありかを発見していくことが望ましい。
5. 主として 2 年次以降に開講される専門科目は、その専門性の度合いによって、基礎科目、基幹科目、または展開科目に分類されている。
6. 2 年次以降、学生は学科内に設けられた 3 コースのいずれかに所属し、別表「コース指定科目表」に示される所属コースの指定科目を 30 単位以上履修するが、それ以外は自分の興味や進路希望に基づいて「授業科目表」に記載のすべての科目を自由に履修することができる。
7. コースの指定科目の履修にあたっては、「コース指定科目表」の注意事項をよく読むこと。
8. 英語履修上の注意  
英語は選択必修であり、英語 I～V の 5 科目のうち 3 科目を必ず修得しなければならない。英語 I～V の学期毎の開講は次のとおりである。

## 【1 年次後期】

英語 I  
英語 II  
英語 III

## 【2 年次前期】

英語 II  
英語 III  
英語 IV

## 【2 年次後期】

英語 III  
英語 IV  
英語 V

- i. 1年次後期に関しては、学生の意思に関わらず、前期の基礎英語の履修状況に照らして学科が指定するⅠ・Ⅱ・Ⅲのいずれかを履修する。
  - ii. 2年次前期と2年次後期は、学生の意思に関わらず、その学期に開講される英語のうちから、前学期の英語の履修状況に照らして学科が指定する科目を履修する。
9. 選択必修の概論5科目の履修上の注意
- 基礎科目の5つの概論（法学概論，経済学概論，経営学概論，会计学概論，簿記概論）は、このうちの最低2科目（4単位）を必ず修得しなければならない。ただし、ネットワーク社会コースに所属する学生は、これら5科目のうち最低3科目（6単位）を修得することが望ましい。

## 10. 演習履修上の注意

- i. 基礎演習Ⅰ（学習法基礎）〔1年次前期〕  
大学における学習法の基礎についての演習クラスが置かれるが、学生の所属は学科が指定する。
  - ii. 基礎演習Ⅱ（課題演習）〔1年次後期〕  
基礎演習Ⅰで学んだ学習法に基づいて、課題についての調査・研究、報告書の作成・発表の練習を行う。課題の内容が異なる複数のクラスが開講され、学生はその中から希望するクラスを選択して履修するが、クラス編成の都合により受講者数の調整を行うことがある。
  - iii. 情報社会基礎演習Ⅰ〔2年次前期〕、情報社会基礎演習Ⅱ〔2年次後期〕  
学期ごとに、各コースでその専門に関わる何種かの演習が開講され、学生はその中から希望するクラスを選択して履修するが、クラス編成の都合により受講者数の調整を行うことがある。
  - iv. 情報社会一般演習Ⅰ・Ⅱ〔3年次前・後期〕、情報社会総合演習Ⅰ・Ⅱ〔4年次前・後期〕  
コースごとに、より専門性を高めた1クラス10名程度の演習が開講され、学生は自分の関心と進路希望に応じてそのいずれかを選択履修する。ただし、クラス編成の都合により受講者数の調整を行うことがある。  
演習は3年次の情報社会一般演習は週1コマ、4年次の情報社会総合演習は週2コマ行われる。4年次には、指導教員と相談しながらテーマを定め、卒業研究を行う。原則として学生は2年間を通して同一の指導教員の演習に所属することになるので、3年次の演習の選択は慎重に行わなければならない。
11. 「情報社会インターンシップ」の履修上の注意
- インターンシップがキャリア・デザイン科目「情報社会インターンシップ」の単位認定の対象となるためには、以下の諸条件を満たさなければならない。
- i. 就職課を通じたインターンシップの申し込み
  - ii. ビジネスマナー教習の受講
  - iii. インターンシップ実習への参加
  - iv. 報告会への出席
  - v. 所定の書式による実習中の日誌の提出

なお、後期に履修する場合は、インターンシップ実習の時期によっては単位認定が通常より遅れ、進級・卒業判定に間に合わないことがあるので、十分注意すること。

## 2. <<情報社会学科>> 授業科目配当表 [平成27年度(2015)入学者用]

区分	1 学年				2 学年				
	前期		後期		前期		後期		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
教養科目	◎ 基礎演習 I	2	◎ 基礎演習 II	2	○ 英語 II	2	◎ 英語 III	2	
	◎ コンピュータ概論 I	2	◎ コンピュータ概論 II	2	○ 英語 III	2	◎ 英語 IV	2	
	◎ 情報学概論	2	◎ オールイングリッシュA	2	○ 英語 IV	2	◎ 英語 V	2	
	◎ 基礎英語	2	◎ オールイングリッシュB	2	人間理解 V	2	人間理解 III	2	
	◎ オールイングリッシュA	2	◎ 英語 I	2	人間理解 VII	2	人間理解 XI	2	
	◎ オールイングリッシュB	2	◎ 英語 II	2	人間理解 X	2	国際理解 II	2	
	仏教精神 I	2	◎ 英語 III	2	科学技術理解 V	2	国際理解 IV	2	
	人間理解 II	2	仏教精神 II	2	科学技術理解 VII	2	国際理解 V	2	
	人間理解 IV	2	人間理解 I	2	ドイツの言語と文化 I	2	科学技術理解 VI	2	
	国際理解 I	2	人間理解 VI	2	フランスの言語と文化 I	2	ドイツの言語と文化 II	2	
	科学技術理解 I	2	人間理解 VII	2	中国の言語と文化 I	2	フランスの言語と文化 II	2	
	科学技術理解 III	2	人間理解 IX	2	教理基礎 II	2	中国の言語と文化 II	2	
	プログラミング入門	2	国際理解 III	2	映像・音楽の総合表現と人間	2	社会学概論	2	
	情報社会学入門	2	国際理解 VI	2					
	政治学概論	2	科学技術理解 II	2					
	福祉ビジネス論	2	科学技術理解 IV	2					
	# 体育実技 I	1	教理基礎 I	2					
	* コミュニケーション演習 I	2	教育と社会	2					
	ポランディアの研究	2	ポランディアの研究	2					
	※ 日本語 I	2	# 体育実技 II	1					
	※ 日本語 II	2	* コミュニケーション演習 II	2					
	※ 日本語 III	2	※ 日本語 III	2					
	※ 日本語 IV	2	※ 日本語 IV	2					
	※ 日本語 II	2	※ 日本語 II	2					
	計	43	計	47	計	26	計	26	
	メディア情報科目	◎ コンピュータリテラシーA I	2	◎ コンピュータリテラシーA II	2	情報社会インターンシップ	2	情報社会インターンシップ	2
◎ コンピュータリテラシーB I		2	◎ コンピュータリテラシーB II	2	人生と職業	2			
計	4	計	4	計	4	計	2		
基礎科目	○ 法学概論	2	◎ 経済学概論	2	◎ 情報社会基礎演習 I	2	◎ 情報社会基礎演習 II	2	
	テクノロジと音楽	2	◎ 経営学概論	2	◎ 日本国憲法	2	◎ 簿記概論	2	
	ネットワーク社会学	2	メディア音楽論	2	○ 会計学概論	2	行政法	2	
	音楽情報演習 I	2	情報と職業	2	◎ 日本史概論	2	行政学	2	
	音楽学概論	2	プログラミング I	2	◎ 東洋史概論	2	情報セキュリティ	2	
			平面構成演習	2	◎ 西洋史概論	2	計算言語学	2	
			現代の表象	2	民法A	2	日本史特講 I	2	
					マクロ経済学 I	2	東洋史特講 I	2	
					ミクロ経済学 I	2	現代社会と倫理	2	
					現代社会と宗教 I	2	オールイングリッシュD	2	
					西洋史特講 I	2	コミュニケーション論	2	
					オールイングリッシュC	2	映像文化論	2	
					芸術論	2	映像制作演習	2	
					データ解析法	2	空間構成演習 I	2	
					プログラミング II	2	空間構成演習 II	2	
					デジタルデザイン基礎演習	2	情報社会特講 II	2	
					デジタルサウンド演習 I	2	メディア論	2	
					情報社会特講 I	2			
					情報ネットワーク論	2			
					英語圏文化論	2			
	計	10	計	14	計	40	計	34	
	専門科目			音楽情報演習 II	2	経営管理論	2	民法B	2
						経営情報論	2	国際法	2
					経営情報システム	2	情報関連法	2	
					情報システム論	2	ビジネス関連法	2	
					実用英語 I	2	マクロ経済学 II	2	
				音楽文化論	2	ミクロ経済学 II	2		
				映像と音楽	2	西洋史特講 II	2		
				音響環境論 I	2	東洋史特講 II	2		
				映像環境論	2	実用英語 II	2		
					音響環境論 II	2	情報処理心理学	2	
					デジタルサウンド演習 II	2	デジタルサウンド演習 II	2	
計	0	計	2	計	18	計	24		
展開科目			造形表現論	2	Webデザイン演習	2	浄土教の歴史と文化	2	
					コンピュータアート論	2	コンピュータ画像処理	2	
					CGマンガ演習	2			
計	0	計	2	計	6	計	4		
計	10	計	18	計	64	計	62		

(注記1) 必選欄の◎印は、必修科目を示す。  
ただし、基礎英語、オールイングリッシュA・Bは、留学生の選択科目である。  
また、聴覚に障害をもつ学生は、オールイングリッシュA・Bに代えて  
\*印の科目履修することができる。

必選	前期		必選	後期	
	授業科目	単位		授業科目	単位
◎	基礎英語(再)	2	◎	オールイングリッシュB(再)	2
◎	オールイングリッシュA(再)	2	◎	英語 III(再)	2
○	英語 I(再)	2	○	英語 IV(再)	2
○	英語 II(再)	2			

区分	3 学年				4 学年			
	前期		後期		前期		後期	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
教養科目	キャリアデザイン科目							
	現代社会理解 キャリアと自立 働くことの科学と実践 I	2 2 2	働くことの科学と実践 II	2				
	計	6	計	2	計	0	計	0
基礎科目								
	計	0	計	0	計	0	計	0
専門科目	基礎科目							
	◎ 情報社会一般演習 I 国際経済論 人文地理学 データベース論 マルチメディア論 情報社会特講 III	2 2 2 2 2 2	◎ 情報社会一般演習 II 日本経済論 現代社会と宗教 II 日本史特講 II 自然地理学 情報社会特講 IV	2 2 2 2 2 2				
	計	12	計	12	計	0	計	0
展開科目	知的財産権法 会計情報システム 発展英語 I デザイン論 コンピュータ・ミュージック演習 情報社会特講 V 財務管理論	2 2 2 2 2 2 2	法学応用演習 知識管理論 マーケティング論 e-ビジネス論 ネットワーク管理 システム管理 哲学の源流 海洋文化交流史 地誌学 発展英語 II CGアニメーション 情報社会特講 VI 国際関係論 国際交流史	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	◎ 情報社会総合演習 I	4	◎ 情報社会総合演習 II	4
	計	14	計	28	計	4	計	4
	計	26	計	40	計	4	計	4

※【再履修科目】

前期		
必選	授業科目	単位
◎	情報社会総合演習 II (再)	4

(注記2) 必選欄の○印は、選択必修科目を示す。

教養科目の英語 I～V の5科目のうち、3科目(6単位)が選択必修である。

ただし、これらの科目は留学生の選択科目である。

基礎科目の法学概論、経済学概論、経営学概論、会計学概論、簿記概論の5科目のうち、2科目(4単位)が選択必修である。

(注記3) 必選欄の※印は、留学生の履修科目を示す。

(注記4) 必選欄の空白は、選択科目を示す。

(注記5) 必選欄の\*印は、聴覚に障害をもつ学生の履修科目を示す。

### 3. ≪情報社会学科≫ 卒業要件一覧表

#### 【平成27年度(2015)】入学者適用

区分	必修	選択必修	選択	合計
教養科目	18単位 【24】	6単位 【0】	26単位	50単位
専門科目	基礎	4単位	52単位	74単位
	基幹	4単位		
	展開	8単位		
合計	36単位 【42】	10単位 【4】	78単位	124単位

【 】内は、留学生の最低修得単位数を示す。

#### 4.《情報社会学科》 コース指定科目表(平成27年度)

##### 【ネットワーク社会コース】

平成27年度(2015)以降入学者適用

区分	授業科目	開講期	1年	2年	3年	4年	公	ビ	情
教養科目	プログラミング入門	前	●				○	○	○
	数理基礎Ⅰ(文系のための数学)	後	●				○	○	○
基礎科目	ネットワーク社会論	前	●				○	○	○
	情報と職業	後	●					○	○
	プログラミングⅠ	後	●						○
	民法A(総則・物権)	前		●			○		
	行政法	後		●			○		
	マクロ経済学Ⅰ	前		●			○	○	
	ミクロ経済学Ⅰ	前		●			○	○	
	情報ネットワーク論	前		●			○	○	○
	データ解析法	前		●				○	○
	プログラミングⅡ	前		●					○
	行政学	後		●			○		
	情報セキュリティ	後		●					○
	専門科目	国際法	後		●			○	
情報関連法		後		●			○	○	○
経営情報論		前		●			○	○	○
情報システム論		前		●			○	○	○
経営情報システム		前		●				○	○
経営管理論		前		●				○	○
民法B(債権)		後		●			○		
ビジネス関連法		後		●				○	
マクロ経済学Ⅱ		後		●			○	○	
ミクロ経済学Ⅱ		後		●			○	○	
国際経済論		前			●		○	○	
データベース論		前			●				○
マルチメディア論		前			●				○
展開科目	日本経済論	後			●		○	○	
	国際関係論	後			●		○	○	
	知的財産権法	前			●			○	○
	法学応用演習	後			●		○		
	知識管理論	後			●		○	○	○
	財務管理論	前			●			○	○
	e-ビジネス論	後			●		○	○	
	会計情報システム	前			●			○	○
	マーケティング論	後			●			○	○
	ネットワーク管理	後			●			○	○
	システム管理	後			●			○	○

〔注記〕

- ネットワーク社会コースの学生は、上記授業指定科目から30単位以上を履修すること。  
なお、30単位のうち、「プログラミング入門、ネットワーク社会論、情報ネットワーク論、情報関連法、経営情報論、情報システム論」の6科目12単位は履修することが望ましい。
- コース指定科目に含まれないが、ネットワーク社会コースの学生は、基礎科目の概論5科目(法学概論、経済学概論、経営学概論、会計学概論、簿記概論)のうち、最低3科目6単位を履修することが望ましい(選択必修科目として必要な単位数は4単位)。
- 表右端の「公」は公務員、「ビ」はビジネス、「情」は情報の分野で必要性の高い科目である。

## 【文化コミュニケーションコース】

平成27年度(2015)以降入学者適用

区分	授業科目	開講期	1年	2年	3年	4年	文化	コミュ
教養科目	国際理解Ⅰ(文化人類学)	前	●				○	
	人間理解Ⅹ(ジェンダー論)	前		●			○	○
	ドイツの言語と文化Ⅰ	前		●			○	○
	フランスの言語と文化Ⅰ	前			●		○	○
	中国の言語と文化Ⅰ	前		●			○	○
	ドイツの言語と文化Ⅱ		後		●		○	○
	フランスの言語と文化Ⅱ		後		●		○	○
中国の言語と文化Ⅱ		後		●		○	○	
基礎科目	日本史概論	前					○	
	東洋史概論	前		●			○	
	西洋史概論	前		●			○	
	現代社会と宗教Ⅰ	前			●		○	
	西洋史特講Ⅰ	前		●			○	
	芸術論	前		●			○	
	メディア論		後		●		○	○
	オーラルイングリッシュC	前		●				○
	現代の表象		後	●			○	
	日本史特講Ⅰ		後		●		○	
	東洋史特講Ⅰ		後		●		○	
	現代社会と倫理		後		●		○	
	英語圏文化論	前		●			○	
	映像文化論		後		●		○	
	コミュニケーション論		後		●		○	○
	オーラルイングリッシュD		後		●			○
	計算言語学		後		●			○
基幹科目	音楽文化論	前		●			○	
	実用英語Ⅰ	前		●				○
	実用英語Ⅱ		後	●				○
	東洋史特講Ⅱ		後	●			○	
	西洋史特講Ⅱ		後	●			○	
	日本史特講Ⅱ		後		●		○	
	現代社会と宗教Ⅱ		後		●		○	
	人文地理学	前			●		○	
	自然地理学		後		●		○	
	浄土教の歴史と文化		後	●			○	
展開科目	発展英語Ⅰ	前		●				○
	知的財産権法	前			●		○	
	海洋文化交流史		後		●		○	
	発展英語Ⅱ		後		●			○
	地誌学		後		●		○	
	哲学の源流		後		●		○	
	国際交流史		後		●		○	

〔注記〕

- 文化コミュニケーションコースの学生は、上記授業科目から30単位以上を履修すること。
- コース指定科目に含まれないが、文化コミュニケーションコースの学生は、基礎科目の概論5科目(法学概論, 経済学概論, 経営学概論, 会計学概論, 簿記概論)のうち、最低2科目4単位を履修すること。

## 【デジタル表現コース】

平成27年度(2015)以降入学者適用

区分	授業科目	開講期	1年	2年	3年	4年	映	音
教養科目	数理基礎Ⅰ(文系のための数学)	後	●				○	○
	プログラミング入門	前	●				○	○
	数理基礎Ⅱ(マルチメディアのための数学)	前		●			○	○
基礎科目	テクノロジーと音楽	前	●					○
	音楽情報演習Ⅰ	前	●					○
	現代の表象	後	●				○	
	プログラミングⅠ	後	●				○	○
	情報と職業	後	●				○	○
	メディア音楽論	後	●					○
	平面構成演習	後	●				○	
	音楽音響学概論	前	●					○
	プログラミングⅡ	前		●			○	○
	メディア論	前		●			○	○
	芸術論	前		●			○	○
	データ解析法	前		●			○	○
	デジタルデザイン基礎演習	前		●			○	
	デジタルサウンド演習Ⅰ	前		●				○
	コミュニケーション論	後		●			○	○
専門科目	映像文化論	後		●			○	○
	空間構成演習Ⅰ	後		●			○	
	空間構成演習Ⅱ	後		●			○	
	映像制作演習	後		●				○
	情報セキュリティ	後		●			○	○
	音楽情報演習Ⅱ	後	●					○
	映像と音楽	前		●			○	○
	音楽文化論	前		●				○
	音響環境論Ⅰ(サウンド機器)	前		●				○
	映像環境論(映像機器)	前		●			○	
	情報関連法	後		●			○	○
	情報処理心理学	後		●			○	○
	音響環境論Ⅱ(サウンド機器)	後		●				○
	デジタルサウンド演習Ⅱ	後		●				○
	データベース論	前			●		○	○
マルチメディア論	前			●		○	○	
展開科目	造形表現論	後	●				○	
	コンピュータ・アート論	前		●			○	
	Webデザイン演習	前		●			○	
	CGマンガ演習	前		●			○	
	コンピュータ画像処理	後		●			○	
	コンピュータ・ミュージック演習	前			●			○
	デザイン論	前			●		○	
	知的財産権法	前			●		○	○
CGアニメーション	後			●		○		

〔注記〕

1. デジタル表現コースの学生は、上記授業指定科目から、30単位以上を履修すること。
2. コース指定科目に含まれないが、デジタル表現コースの学生は、基礎科目の概論5科目(法学概論、経済学概論、経営学概論、会計学概論、簿記概論)のうち、最低2科目4単位を履修すること。
3. 表右端の「映」は映像・画像関係、「音」は音楽・音響関係の科目を示す。

# 1. 《心理学科》 履修上の注意

## 平成 27 年度以降入学者向け

以下に科目履修にあたっての注意点を挙げる。学生は履修細則と合わせて熟読し、卒業に際し、問題の起こらないように留意すること。

なお、21 年度の入学者から心理学科ではコース制を採用している。20 年度以前の入学者に対する講義科目名、履修年次などが異なっているので注意すること。

1. 学科を卒業するためには、授業科目配当表に記載されている科目のうちから、4 年次終了までに、教養科目 50 単位以上、専門科目 74 単位以上、合計 124 単位以上を履修しなければならない。このうち平成 21 年度以降入学生については必修 44 単位、選択必修 18 単位が必要である。
2. 履修は授業科目配当表に記載された配当年次に行うのが標準であるが、選択科目においては自分の現年次より下の年次に配当された科目を履修することができる。早期卒業を希望する場合の総合研究演習を除いて、所属より上の年次に配当されている科目を履修することはできない。
3. 学科の学生が第 3 学年に進級するためには、教養科目、専門科目に関して、合計 28 単位以上を修得していなければならない。また、第 4 学年に進級するためには、教養科目、専門科目に関して、合計 76 単位を修得していなければならない。4 年間で卒業するためには各年次に 36 単位程度を修得するのが望ましく、4 年次では総合研究演習の他、数科目を履修すればよくなるよう、計画的に履修すること。なお、1 年間に履修できる単位の上限は 48 単位である。従って、3 年次終了までに 76 単位を修得していなければ、4 年間で卒業できないことがその時点で決定することになる。
4. 心理学専門科目は、その専門性により、年次配当がなされているので計画的に履修すること。選択科目を選ぶにあたって、はじめから興味のある領域の科目にしぼってしまうのは、心理学を学ぶうえで好ましいことではない。特に認定心理士の資格申請を考えているものは、認定要件が基礎から臨床までの広い範囲の単位取得を要することからバランスよく科目を履修するよう留意すること。
5. 演習、実験演習などの科目について
  - a) 基礎演習 I・II (1 年次)

複数の心理学担当教員が手分けして指導する。学生は基礎演習のみに使用される少人数クラスに別けられ、指定された教室に毎週行くことになるが、内容により異なる教員の指導を受ける。この授業は心理学入門のためのセミナーである。1 年間の授業の進め方については、最初の授業で詳しく説明されるので必ず出席すること。
  - b) 基礎実験演習 I・II (2 年次)

実験、心理テストなどの技法を実際に学ぶための授業で、学生は基礎実験演習のみ使用される少人数クラス(班と呼ぶ)に別けられる。前期、後期ともにいくつかの授業内容(種目と呼ぶ)が用意されているが、種目で使用する部屋が固定されているので、種目が変わるたびに違う部屋に行くことになる。直前の変更も多いので、掲示、アナウンスに注意を払うこと。すべての種目についてレポートを提出する必要がある。心理学科の一番主要な科目であるにもかかわらず、単位を取得できない学生が一番多い必修科目でもある。この単位を 3 年次に再履修で取るのは、3 年次の一般実験演習の負担と重なり、現実には難しい。この科目は、心理教養コース、心理キャリアコースの二つに対して異なった種目が用意されているものもある。授業初回時に両コース合同で種目の取り方などを説明するので必ず出席すること。
  - c) 一般実験演習 I・II (3 年次)

一般実験演習は 2 年次末に担当教員を決定する。どの教員に担当されるかは学生の希望に基づいて希望教員と面接し、学科で調整の上決定する。履修にあたっては教員に

よって講義番号が異なっているので、最終的に決定した担当教員の番号を確認し、登録すること。後期の一般実験演習Ⅱで前期の一般実験演習Ⅰと異なる教員に指導を受けることは不可能ではないが、履修上きわめて困難である。

コース毎に、どのような成果を要求するかを含め、教員ごとに授業の進め方を第1回目の授業で詳しく説明するので、必ず出席すること。

d) 総合研究演習Ⅰ、Ⅱ (4年次)

総合研究演習Ⅰ、Ⅱでは、担当教員の指導のもとに卒業研究または、卒業研究に相当する成果の報告を作成する。4年次初頭に発表される各自の指導教員の総合研究演習に履修登録をすること。

コース毎に、この授業において要求される成果は異なるが、どのような成果を要求するかは、担当教員によって指示される。心理キャリアコースでは、卒業研究報告書の作成が必須である。心理教養コースは必ずしも卒業研究報告書を要求しない場合もあるが、同等の成果は要求される。卒業研究の内容は、データ(事例を含む)に基づくものであることが望ましいが、文献を読み、自分の考えをまとめたものも可とする。複数の者が、共同で集めた同じデータに基づいて卒業研究を作成するのはかまわないが、考察は人により当然異なるはずなので、各自独立に1部を作成し提出すること。連名で1部のみ提出することはできない。

枚数については、1枚800字として50から100枚を目安とする。提出期限は概ね年末となるが、決定次第掲示される。

心理キャリアコースに限らず、大学院進学を希望する学生は、卒業論文のコピー提出を求められることを想定して、論文レベルのものになるよう努力すること。

6. 心理学研究法基礎および心理学研究法応用について

心理学研究法基礎は、心理学を学問として研究するための基礎的な方法論を学ぶものであり両コースの学生の必修科目である。時間割には心理学研究法Ⅱという科目が存在するが、これは20年度以前入学生のための再履修科目であり21年度以降の入学学生は履修できない。なお、心理学研究法応用は、心理キャリアコースの選択必修科目であるが、心理学を研究するための研究方法の必須の知識を講義するものであり、両コースの学生とも履修することを強く勧める。

7. コース別の専門選択必修科目について

コース毎の専門選択必修科目が設置される。このコース毎に設置される科目は、他コースの学生が受講してはいけないということではなく、自らのコースの設置科目を最低6科目とれば、他のコースの専門選択必修科目を履修することが可能である。ただし、他コースの選択必修科目に力を入れすぎて、自コースの専門選択必修科目の数が足りなくなるといふことのないように注意すること。

8. 英語履修上の注意

英語Ⅰ～Ⅴの学期毎の開講は次のとおりである。

【1年次後期】	【2年次前期】	【2年次後期】
英語Ⅰ	英語Ⅱ	英語Ⅲ
英語Ⅱ	英語Ⅲ	英語Ⅳ
英語Ⅲ	英語Ⅳ	英語Ⅴ

- i. 英語は選択必修であるが、1年次後期に関しては、学生の意思に関わらず、前期の基礎英語の履修状況に照らして学科が指定するⅠ・Ⅱ・Ⅲのいずれかを履修する。
- ii. 2年次前期以降は、学生の意思に関わらず、その学期に開講される英語のうちから、前学期の英語の履修状況に照らして学科が指定する科目を履修する。

2. 《心理学科》 平成27年度(2015) 入学者用授業科目配当表  
心理教養コース

区分	1 学年				2 学年			
	前期		後期		前期		後期	
	授業科目		授業科目		授業科目		授業科目	
教養科目	◎ コンピュータ・リテラシーA I	2	◎ コンピュータ・リテラシーA II	2	◎ コンピュータ概論 I	2	◎ コンピュータ概論 II	2
	◎ 基礎英語	2	◎ オールイングリッシュA	2	○ 英語 II	2	○ 英語 III	2
	◎ オールイングリッシュA	2	◎ オールイングリッシュB	2	○ 英語 III	2	○ 英語 IV	2
	◎ オールイングリッシュB	2	○ 英語 I	2	○ 英語 IV	2	○ 英語 V	2
	人間理解 II	2	○ 英語 II	2	人間理解 V	2	人間理解 III	2
	人間理解 IV	2	○ 英語 III	2	人間理解 VII	2	人間理解 XI	2
	人間理解 IX	2	人間理解 I	2	人間理解 X	2	人間理解 XII	2
	国際理解 I	2	人間理解 VI	2	科学技術理解 V	2	国際理解 II	2
	科学技術理解 I	2	人間理解 VIII	2	科学技術理解 VI	2	国際理解 IV	2
	科学技術理解 III	2	国際理解 III	2	科学技術理解 VII	2	国際理解 V	2
コンピュータ・リテラシーB I	2	国際理解 VI	2	数理基礎 II	2	科学技術理解 VI	2	
法学概論	2	科学技術理解 II	2	日本国憲法	2	社会学概論	2	
政治学概論	2	科学技術理解 IV	2	現代社会と宗教 I	2	現代社会と倫理	2	
教育と社会	2	科学技術理解 B II	2	人生と職業	2	※ 日本語 IV	2	
体育実技 I	1	数理基礎 I	2	心理インターンシップ	2	実用英語 II	2	
コミュニケーション演習 I	2	経済学概論	2	※ 日本語 III	2			
※ 日本語 I	2	ボランティアの研究	2	ボランティアの研究	2			
※ 日本語 II	2	体育実技 II	1	実用英語 I	2			
※ 日本事情 I	2	※ コミュニケーション演習 II	2	オールイングリッシュC	2			
仏教精神 I	2	※ 日本語 III	2	オールイングリッシュD	2			
		※ 日本語 IV	2	映像・音楽の総合表現と人間	2			
		※ 日本事情 II	2					
		仏教精神 II	2					
	計	39	計	43	計	40	計	28
基礎科目	◎ 心理学概論 I	2	◎ 心理学概論 II	2	◎ 基礎実験演習 I	2	◎ 基礎実験演習 II	2
	◎ 基礎演習 I	2	◎ 基礎演習 II	2	◎ 心理学研究法基礎	2		
	◎ 心理統計学 I	2	◎ 心理統計学 II	2				
		計	6	計	6	計	4	計
専門科目					認知心理学	2		
					発達心理学	2		
					教育心理学	2		
					臨床心理学	2		
		計		計		8	計	
展開科目	福祉ビジネス論	2			学習心理学	2	言語心理学	2
					知覚心理学	2	情報処理心理学	2
							生理心理学	2
							精神保健学	2
							精神医学	2
							社会心理学	2
							心理学と職業	2
		計	2	計		4	計	14
	計	8	計	6	計	16	計	16

※【再履修科目】

必選	前期		必選	後期	
	授業科目	単位		授業科目	単位
◎	基礎英語(再)	2	◎	オールイングリッシュB(再)	2
◎	オールイングリッシュA(再)	2	○	英語 III(再)	2
○	英語 I(再)	2	○	英語 IV(再)	2
○	英語 II(再)	2			

区 分	3 学 年				4 学 年			
	前 期		後 期		前 期		後 期	
	授 業 科 目		授 業 科 目		授 業 科 目		授 業 科 目	
教 養 科 目	発展英語Ⅰ	2	発展英語Ⅱ	2				
	キャリアと自立	2	哲学の源流	2				
	働くことの科学と実践Ⅰ	2	働くことの科学と実践Ⅱ	2				
	計	6	計	6	計	0	計	0
基 礎 科 目								
	計		計		計		計	
専 門 科 目	◎ 一般実験演習Ⅰ	2	◎ 一般実験演習Ⅱ	2				
	○ コミュニケーション技法演習Ⅰ	2	○ コミュニケーション技法演習Ⅱ	2				
基 幹 科 目	○ コミュニケーション技法	2	○ 対人関係論	2				
	○ 日常生活の脳科学	2	○ 日常生活の認知科学	2				
	実験心理学原典購読Ⅰ	2	○ 日常生活の行動科学	2				
	臨床心理学原典購読Ⅰ	2	◎ 実験心理学原典購読Ⅱ	2				
	対人援助論	2	臨床心理学原典購読Ⅱ	2				
	データ解析	2	心理学研究法応用	2				
	計	16	計	16	計		計	
	社会臨床心理学	2	○ 交通心理学	2	◎ 総合研究演習Ⅰ	4	◎ 総合研究演習Ⅱ	4
	犯罪心理学	2	○ 産業心理学	2				
	神経心理学	2	○ 動機づけと情動	2				
	発達臨床心理学	2	家族臨床心理学	2				
			学校臨床心理学	2				
		老年心理学	2					
		非行臨床心理学	2					
		臨床心理査定・面接	2					
		比較心理学	2					
		人格心理学	2					
	計	8	計	20	計	4	計	4
展 開 科 目	計	24	計	36	計	4	計	4

【心理教養コース】

※【再履修科目】

前 期		
必 選	授 業 科 目	単 位
◎	総合研究演習Ⅱ(再)	4

2. <心理学科> 平成27年度(2015)入学者用授業科目配当表  
心理キャリアコース

区 分	1 学年				2 学年				
	前期		後期		前期		後期		
	授業科目		授業科目		授業科目		授業科目		
教養科目	◎ コンピュータ・リテラシーA I	2	◎ コンピュータ・リテラシーA II	2	◎ コンピュータ概論 I	2	◎ コンピュータ概論 II	2	
	◎ 基礎英語	2	◎ オールインク®リッシュA	2	○ 英語Ⅱ	2	○ 英語Ⅲ	2	
	◎ オールインク®リッシュA	2	◎ オールインク®リッシュB	2	○ 英語Ⅲ	2	○ 英語Ⅳ	2	
	◎ オールインク®リッシュB	2	○ 英語Ⅰ	2	○ 英語Ⅳ	2	○ 英語Ⅴ	2	
	人間理解Ⅱ	2	○ 英語Ⅱ	2	人間理解Ⅴ	2	人間理解Ⅲ	2	
	人間理解Ⅳ	2	○ 英語Ⅲ	2	人間理解Ⅶ	2	人間理解Ⅸ	2	
	人間理解Ⅸ	2	○ 英語Ⅳ	2	人間理解Ⅹ	2	人間理解Ⅺ	2	
	国際理解Ⅰ	2	人間理解Ⅰ	2	人間理解Ⅹ	2	国際理解Ⅱ	2	
	科学技術理解Ⅰ	2	人間理解Ⅵ	2	科学技術理解Ⅴ	2	国際理解Ⅳ	2	
	科学技術理解Ⅲ	2	人間理解Ⅶ	2	科学技術理解Ⅶ	2	国際理解Ⅴ	2	
	コンピュータ・リテラシーB I	2	国際理解Ⅵ	2	数理基礎Ⅱ	2	科学技術理解Ⅵ	2	
	法学概論	2	科学技術理解Ⅱ	2	日本国憲法	2	社会学概論	2	
	政治学概論	2	科学技術理解Ⅳ	2	現代社会と宗教Ⅰ	2	現代社会と倫理	2	
教育と社会	2	コンピュータ・リテラシーB II	2	人生と職業	2	※ 日本語Ⅳ	2		
体育実技Ⅰ	2	数理基礎Ⅰ	2	心理インターンシップ	2	実用英語Ⅱ	2		
コミュニケーション演習Ⅰ	1	経済学概論	2	※ 日本語Ⅲ	2				
* 日本語Ⅰ	2	体育実技Ⅱ	2	ポランティアの研究	2				
※ 日本語Ⅱ	2	ポランティアの研究	2	実用英語Ⅰ	2				
※ 日本事情Ⅰ	2	* コミュニケーション演習Ⅱ	2	オールインク®リッシュC	1				
※ 仏教精神Ⅰ	2	※ 日本語Ⅲ	2	オールインク®リッシュD	2				
		※ 日本語Ⅳ	2	映像・音楽の総合表現と人間	2				
		※ 日本事情Ⅱ	2						
		※ 仏教精神Ⅱ	2						
		計	39	計	43	計	40	計	28
基礎科目	◎ 心理学概論Ⅰ	2	◎ 心理学概論Ⅱ	2	◎ 基礎実験演習Ⅰ	2	◎ 基礎実験演習Ⅱ	2	
	◎ 基礎演習Ⅰ	2	◎ 基礎演習Ⅱ	2	◎ 心理学研究法基礎	2			
	◎ 心理統計学Ⅰ	2	◎ 心理統計学Ⅱ	2					
			計	6	計	6	計	4	計
専門科目					認知心理学	2			
					発達心理学	2			
					教育心理学	2			
				臨床心理学	2				
		計		計	8	計		計	
展開科目	福祉ビジネス論	2			学習心理学	2	言語心理学	2	
					知覚心理学	2	情報処理心理学	2	
							生理心理学	2	
						精神保健学	2		
						精神医学	2		
						社会心理学	2		
						心理学と職業	2		
		計	2	計	4	計	14		
		計	8	計	6	計	16	計	16

※【再履修科目】

必選	前 期		必選	後 期	
	授業科目	単位		授業科目	単位
◎	基礎英語(再)	2	◎	オールインク®リッシュB(再)	2
◎	オールインク®リッシュA(再)	2	○	英語Ⅲ(再)	2
○	英語Ⅰ(再)	2	○	英語Ⅳ(再)	2
○	英語Ⅱ(再)	2			

区分	3 学年				4 学年			
	前期		後期		前期		後期	
	授業科目		授業科目		授業科目		授業科目	
教養科目	発展英語Ⅰ	2	発展英語Ⅱ	2				
	キャリアと自立 働くことの科学と実践Ⅰ	2	哲学の源流 働くことの科学と実践Ⅱ	2				
	計	6	計	6	計	0	計	0
基礎科目								
	計		計		計		計	
専門科目	◎ 一般実験演習Ⅰ	2	◎ 一般実験演習Ⅱ	2				
	○ 実験心理学原典購読Ⅰ	2	○ 実験心理学原典購読Ⅱ	2				
基礎科目	○ 臨床心理学原典購読Ⅰ	2	○ 臨床心理学原典購読Ⅱ	2				
	○ データ解析	2	○ 心理学研究方法応用	2				
	○ 対人援助論	2	コミュニケーション技法演習Ⅱ	2				
	コミュニケーション技法演習Ⅰ	2	対人関係論	2				
	コミュニケーション技法	2	日常生活の認知科学	2				
	日常生活の脳科学	2	日常生活の行動科学	2				
	計	16	計	16	計		計	
	○ 神経心理学	2	○ 臨床心理査定・面接	2	◎ 総合研究演習Ⅰ	4	◎ 総合研究演習Ⅱ	4
	社会臨床心理学	2	動機づけと情動	2				
	犯罪心理学	2	家族臨床心理学	2				
発達臨床心理学	2	学校臨床心理学	2					
		老年心理学	2					
		非行臨床心理学	2					
		交通心理学	2					
		比較心理学	2					
		産業心理学	2					
		人格心理学	2					
	計	8	計	20	計	4	計	4
		24		36		4		4

【心理キャリアコース】

※【再履修科目】

必選	前期		単位
	授業科目		
◎	総合研究演習Ⅱ(再)		4

### 3. <心理学科> 卒業要件一覧表

#### 【平成23年度(2011)～27年度(2015)】入学者適用

区分	必修	選択必修	選択	合計
教養科目	14 単位 【20】	6 単位 【0】	30 単位	50単位
* 専門科目	基礎	—	32 単位	74単位
	基幹	12単位		
	展開			
合計	44 単位 【50】	18 単位 【12】	62 単位	124単位

【 】内は、留学生の最低修得単位数を示す。

\*印の科目区分:キャリア科目を含む